

令和3年度補正 海外市場調査等事業費補助金 (インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業)

(事業名称) 情報通信事業におけるグローバルSCM強化

2023年3月

一般社団法人日本機械工業連合会
(補助先) 株式会社レゾナック

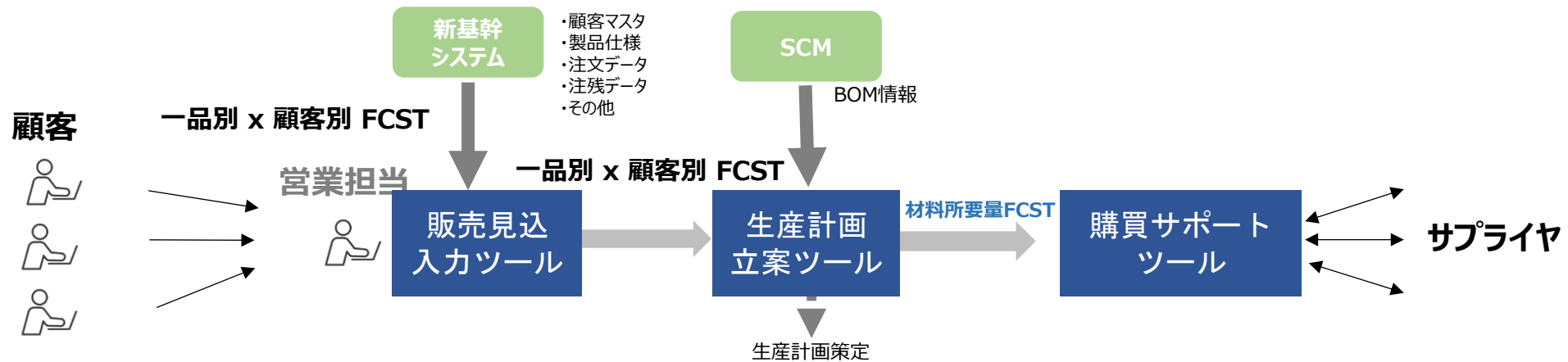
補助金事業概要

半導体材料事業における、サプライチェーン強靱化

目的	サプライチェーン運用の難易度は向上しており、途絶リスクは高まりを見せている。これらに対応していくためには、①必要な情報を吸い上げ、②リスクの程度を把握し、③迅速・適切に対応を行う、④これらをサプライチェーンの効率化を損なわずに行う、ことが求められる。 サプライチェーン統合でのリスク／効率性を判断・対応するための体制を整えていく。
体制	グローバルSCMセンタ に加えて IT/営業/製造拠点とは密な連携を実施予定 サプライヤー ソフトウェア提供企業 外部委託 顧客企業
課題	サプライチェーンにおける多くの顧客・サプライヤーを巻きこみながら、取り組みを推進していく 取引先を訪問し監査を行う 監査プロセスをリモートでの簡易監査に発展させるなどしてより質の高い取引先情報の収集を目指す
実施内容	サプライヤーとの関係強化のための重点サプライヤの選定と監査の定期実施 顧客のニーズに応えるための原料とキャパシティの確保、ビジネス継続リスクの測定と打ち手の実施
成果	End to Endに対応できるSCMを俯瞰できるシステムツールの導入 地政学リスクや調達リスクに基づく重要サプライヤの選定と関係の維持
展望	半導体材料事業で得られた成果を顧客の共通性を軸に他事業に展開し企業レベルでSCMリスクを低減する 顧客のニーズに応えつつ、原料の調達能力や競争力を維持できるサプライヤーと関係を強化して産業の競争力を維持発展させる

事業目的 グローバルSCMシステム構築

サプライヤー～顧客までのEnd to Endでのデータベースの作成・運用を進め、リアルタイムでの重点リスクの識別、リスク対応を含めた事業判断スピード向上、顧客やサプライヤーも交えた事業の最適化の実現を目指す



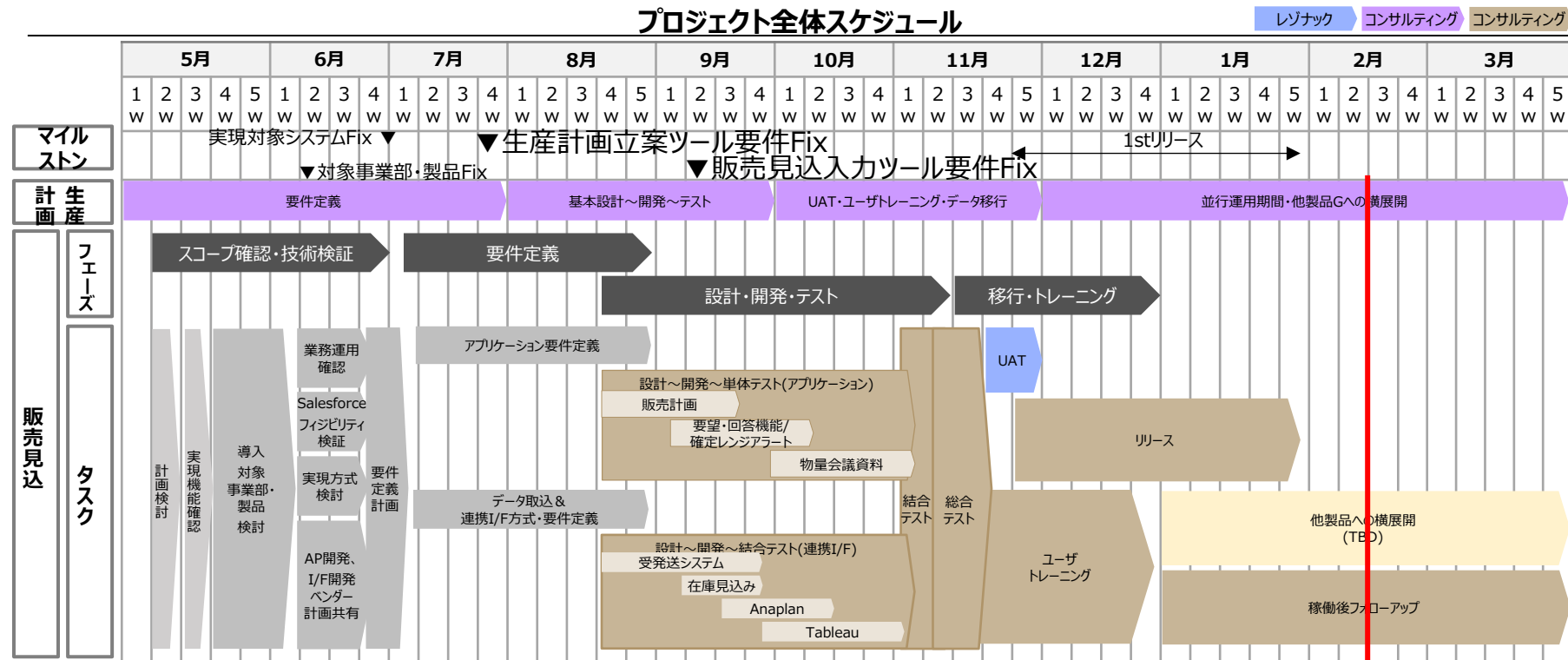
特長

- ✓ 国内外の需要情報をデータ分析基盤で一元管理をすることで途絶リスクを早期に検知
- ✓ API、ETL/ESBツールに対応したソリューションのため将来的に企業間データ連携が可能
- ✓ SSO・データ暗号化等の先進的セキュリティに対応

実施スケジュール

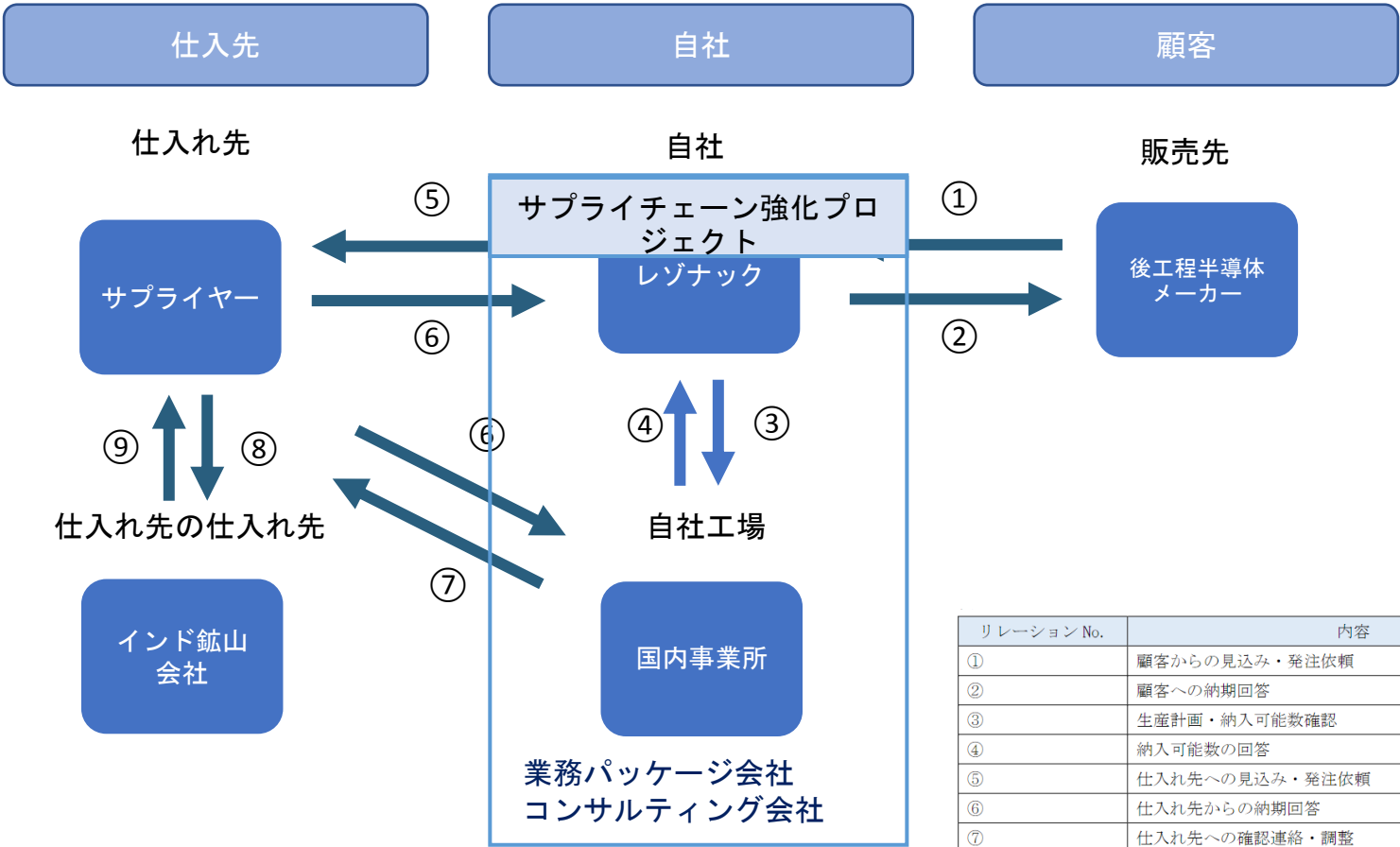
11月28日実証開始、助走期間を経て2月より稼働開始

稼働に掛かる機能 営業・グローバルSCM（生産管理・購買）・製造



実施内容

パイロットにおける各エンティティ(サプライヤー・自社・顧客)の関係



リレーション No.	内容
①	顧客からの見込み・発注依頼
②	顧客への納期回答
③	生産計画・納入可能数確認
④	納入可能数の回答
⑤	仕入れ先への見込み・発注依頼
⑥	仕入れ先からの納期回答
⑦	仕入れ先への確認連絡・調整
⑧	仕入れ先の仕入れ先への見込み・発注依頼
⑨	仕入れ先の仕入れ先からの納期回答

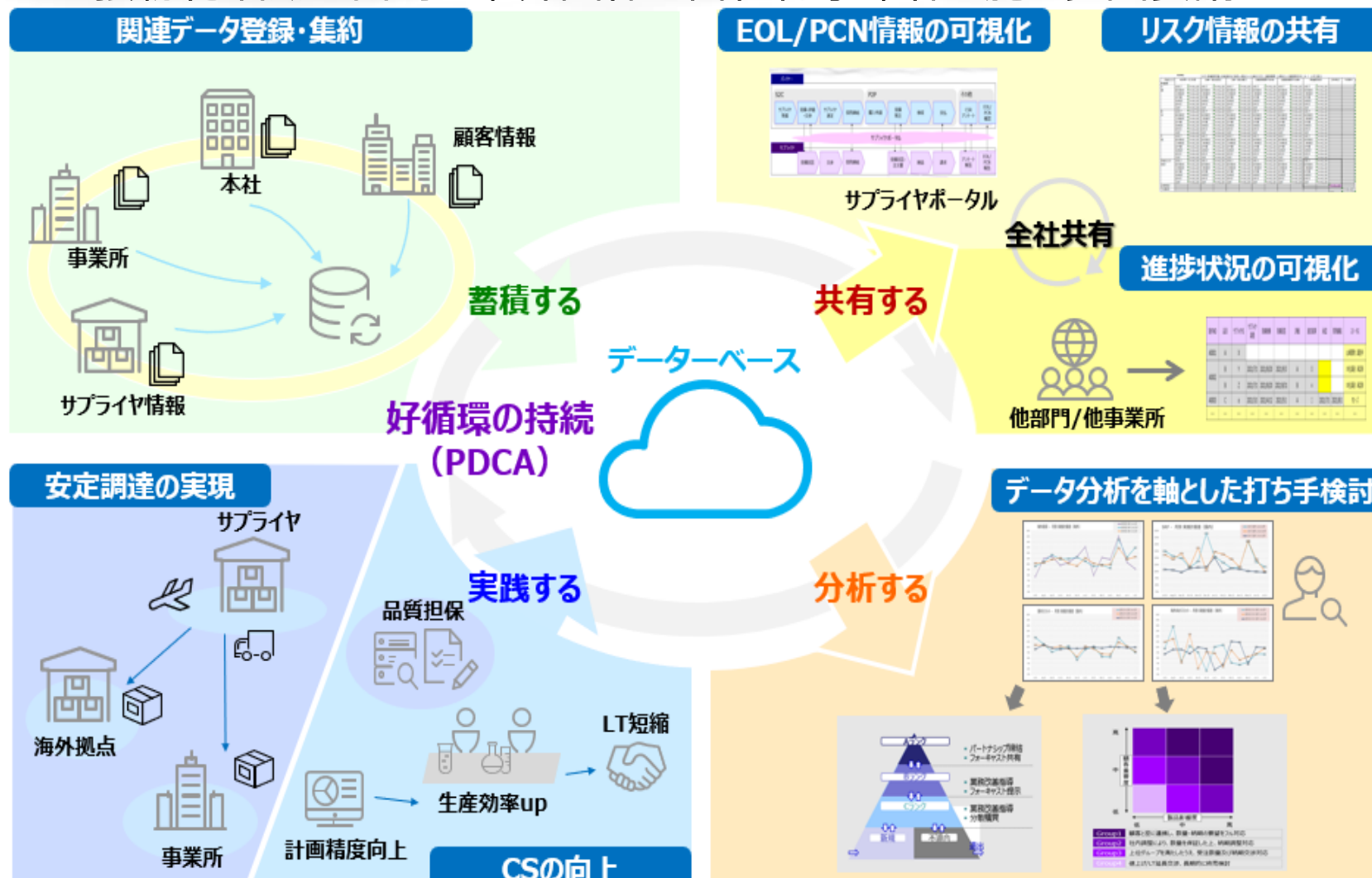
実施内容 システム化の方向付けを明確化

計画立案業務のシステム化により、業務効率化の実現とともに製販運営の高度化を通じて納期回答および出荷リードタイムの短縮を狙う

	As Is	To Be
原材料の早期確保による デリバリパフォーマンス向上	調達計画作成タイミングが遅いため、 サプライヤとの交渉が弱く、競合に材料確保されてしまうリスク がある	調達計画作成プロセスを前倒しすることで、 原材料不足リスクに対して先手の対策 を行う
エクセルバケツリレーの 脱却による業務の効率化	計画業務が、エクセルのバケツリレーを行っているため、 作業工数が大きく、判断業務に割く時間が少ない	データの一元管理により、 業務効率化と判断業務比率向上 を実現
データドリブンによる 製販運営の高度化	情報の属人管理により、 製販計画の非連動を生み需給変動への即応性が低くなる	情報の見える化とデータドリブン分析により、 製販運営の高度化を進め需給変動への即応性向上 を実現

実施内容 活動展開

強靱化活動の目的を業界団体や自社他事業体に施し参画要請



実施内容 BOM・コード体系 整備

運用での前データ処理の定義と既存データ整備

システムに残すデータの選定

営業・情GS・事業部で使われる帳票・
ファイルの収集

製品・中間品・材料に関するマスタ（源
泉場所）の特定とクレンジング方針

クレンジングの実施と検証

ITアプリケーション部のクレンジング作業と連携
業務帳票分析と作成者へのヒアリング

データのうち材料・中間品・製品にコード付与

コード体系の策定
コード付与作業
新規コード登録・コード変更の運用

エクセル帳票の使用項目名とマスターデータが一致しているか対照表作成
調査対象項目 65項目、使用業務ファイル 4種類

lv0	lv3	データ項目の定義	命名ルールの確認	Anaplanでの定義対象	新基幹システム	生産現場	調達	事業部	SCM	品質	電子	22.05月	Yamazaki	DB	EN-HCM2	2025年度	最終レビュー
53	マスタ	顧客名															
54	マスタ	商略															
55	マスタ	OEM (MCL)	original equipment manufacturing														
56	マスタ	用途/アパ (MCL)															
57	マスタ	Item品名	顧客から受注する製品名(出商品名)														
58	マスタ	製造品名	生産計画立案時に使用する品名														
59	マスタ	出商品名(顧客)	NO.56のItem品名に大口顧客情報を付与した品名														
60	マスタ	半製品 (中製品) 品名															
61	マスタ	原材料品名															
62	マスタ	製品単価															
63	マスタ	評価単価	在庫評価単価														
64	マスタ	荷姿	梱包された製品の外見 (顧客から受注される製品数量単位)														
65	マスタ	製品カテゴリー	製品計画立案時にカテゴリー別の管理が必要なもの														
66	マスタ	Trading Company	顧客※注文主と同意														
67	マスタ	生産拠点															

サプライチェーン強靱化 変更点/成果/展望

活動途上での変更点

- ― 目指すサプライチェーンネットワークのゴールは可視化のほかにアジア・太平洋地域の連携強化のようなエリア別の個別ゴール、中華圏の切り出しと完結化が加わった⇒海外事業所の役割の見直し
- ― 特定原料の供給隘路が長期化の中で、COVID-19の流行も加わり仕入れ先の仕入れ先訪問が中止を余儀なくされた

活動の成果

- ― 営業担当者ごとに作成していた販売見込みデータが同じツールに投入されることにより作成ルールが統一され一元管理できるようになった
- ― 事業所別に断絶していたBOM情報、購買・生産計画データが一つのプラットフォームで閲覧可能となった
- ― 補助金事業を通じて先進的な製造販売インフラツールの紹介と検証ができた

今後の展望

- ― サプライチェーン強靱化に対応した国内・海外購買・生産データの可視化
- ― グローバルシステムを利用するパートナーの発掘と販売を見据えた産業界への紹介
- ― 経済産業省や半導体業界の動きの把握と同期のとれた事業戦略の立案